

南箕輪村地域公共交通協議会（第3回） 次第

日時：令和6年3月22日（金）
午前10時から

場所：役場2階 第2会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 協議事項

（1）第2回地域公共交通協議会及び意見書の意見内容と対応（案）について
【資料1】

（2）次年度における地域公共交通計画策定について【資料2】

（3）南箕輪村地域公共交通再構築試案について【資料3】

（4）その他

4 その他

5 閉 会

南箕輪村地域公共交通協議会 委員名簿

(委嘱期間：令和5年4月20日～令和6年3月31日)

役職名	所属	職名	委員氏名	選出区分	備考
会 長	南箕輪村	村長	藤城 栄文	地域公共交通計画を作成しようとする地方公共団	
副会長	村区長会	区長会長	栗原 敦司	地域公共交通の利用者	欠席
委 員	伊那バス株式会社	代表取締役社長	藤澤 洋二	公共交通事業者等	
	ジェイアールバス 関東株式会社 伊那支店	支店長	西津 芳則		
	有限会社白川タクシー	代表取締役	白川 光朗		
	伊那バス労働組合	組織部長	北澤 昭彦		
	北陸信越運輸局長 野運輸支局	首席運輸 企画専門官	佐藤 栄治	道路管理者、港湾管理者 その他地域公共交通計画 に定めようとする事業を 実施すると見込まれる者	欠席
	伊那建設事務所	維持管理課長	長谷川 哲郎		欠席
	伊那警察署	交通課 交通係長	高梨 幸太	公安委員会	
	南箕輪村	地域包括支援 センター長	山崎 一	地域公共交通計画を作成 しようとする地方公共団 体	欠席
	南箕輪村 社会福祉協議会	事務局長	伊藤 千登世	学識経験者その他の当該 地方 公共団体が必要と 認める者	欠席

	所属	職名	氏名		
事務局	地域づくり推進課	課長	高橋 里江		
		係長	宮下 裕司		
		主査	清水 亮輔		
	NPO法人SCOP	主任研究員	富樫 慎	南箕輪村地域公共交通基 礎調査業務委託事業者	

No.	日付	発言者	項目	内容	対応 (案)
1	12/16 会議	白川委員 (白川タクシー)	ぐるっと タクシー	正規運賃は 500 円だが実際の利用の実態として 250 円で乗っている割合が 7 割を超えている。そのあたりも提示してほしい。	追記する。
2	12/16 会議	〃	〃	「観光タクシー」は「高遠観光タクシー」に、「JRバス関東」も追記。	訂正、追記する。
3	12/16 会議	〃	〃	運行時間が短いという意見もみられるが、一般のタクシー事業との整合性を取る部分があり、このような設定になっている。福祉寄りの議員から、利便性追求の声もあるが、行政としては考慮してほしい	運行時間設定の背景は追記。 ただし、利用者意見としては実際にそのような声があるため、そのまま残す。
4	12/16 会議	西津委員 (JRバス関東)	利用者 アンケート	自由意見に良いことが書いてあり、運営にあたつての参考になる。	とくに対応なし。
5	12/16 会議	長谷川委員 (伊那建)	広域事業	隣接する箕輪町や伊那市との連携事業を最大限活用していく必要がある。	資料 7 の課題と方向性でそのように打ち出しており、次年度計画のなかにも反映させる見込み。
6	12/16 会議	高梨委員 (伊那警察署)	観光	観光においては土日のまっくんバスがあるとよい。	資料 7 の課題と方向性で観光の対応も想定しているが、次年度計画のなかで改めて検討する予定。
7	12/16 会議	〃	高齢者 免許返納	免許返納につながる利用促進策が重要である。	資料 7 の課題と方向性で自家用車依存からの脱却を掲げているところで、次年度計画のなかで改めて検討する予定。
8	12/16 会議	山崎委員 (包括支援センター) 白川委員 (白川タクシー)	タクシー 補助券	各市町村それぞれに似た仕組みで実施しているが、南箕輪村のものは比較的やりやすい状況にある。	計画策定のなかで見直す可能性はあるが、現行方策が上手く機能しており、基本的には維持の見込み。

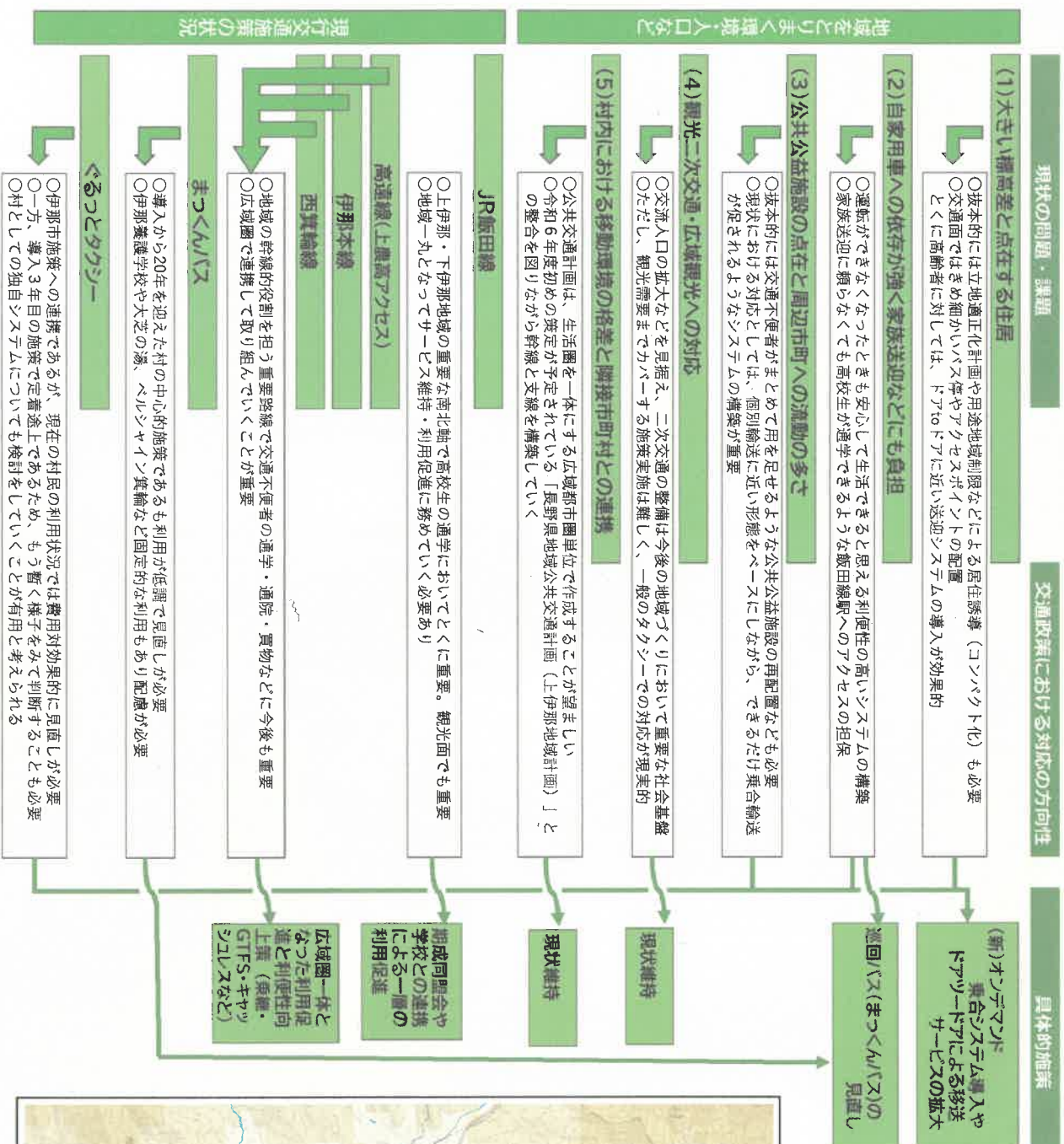
9	12/16 会議	山岸委員 (長野運輸支局)	計画策定の スケジュール	計画策定のなかで、どこまで新規路線の中身についての検討が進むか。	令和6年度中に策定する計画では大枠までだが、実際にはある程度詳細まで検討し、年度明けから実務的な手続きに進む。
10	12/16 会議	西津委員 (JRバス関東)	人材不足 対応	採用に関しての支援がいただけるとありがたい。	計画のなかで具体策は検討していく。
11	1月末 意見書	高梨委員 (伊那警察署)	バス運行の 効率化	現行政策について、無人で運行している様子から税金がもつたいないとの意見も出ている中、詳細な基礎調査によって乗降者の多い時間帯、停留所等大まかな住民ニーズは把握できたため、バス停の集約や運行路線、時間帯の変更について検討できるのではないかと思います。公共交通に対する期待は大きく、存続を望む声も多いことから、それらに対する見直しなどもできる限り早急に着手しなければならないと思います。	効率的な運行は重要であるが、効率性を優先させて利便性が落ちることも問題であるため、計画策定にあたってはバランスをとりながら検討していくものになりたい。
12	1月末 意見書	西津委員 (JRバス関東)	人材確保	採用支援の仕組みについて、現状で応募が一番多いのが民間転職サイトです。しかしながら、掲載料がそれなりに高いので補助制度があればありがたい。	具体策の1つとして検討していく。
13	1月末 意見書	〃	〃	必要な人材は、ドライバーク以外にも整備士も重要。大型車整備士確保が難しくなっている等の着眼点から、車両の小型化は有効。	具体策の1つとして検討していく。
14	1月末 意見書	〃	〃	少子高齢化社会を迎えているところで輸送のニーズも細分化して、ドアtoドアの輸送を求められることが多くなり、限られた輸送資源(財政・人材・車両)の中では、定時定路線バスより、オンデマンド交通等のほうが有効と思います。	オンデマンドへの切り替えは視野に入れているが、バスが必要な箇所もあるため、適材適所で進めていくものしたい。

資料2

1

【本資料の位置づけ】

今年度委託業務は調査事業が主であり、基本的には村の交通における課題抽出を成果と見据えて遂行してきましたが、次年度の計画策定が想定されるなかで、もう一歩踏み込んだ方向性の提示が求められているところです。
本資料は、本日(3/22)の協議会でのディスカッション用に試案として作成したものです。
内容については、調査結果に基づいたものとはしていますが、まだ調整が図られたものではないため、取扱いにはご留意ください。



きめ細かい乗降ポイントを設置するとともに、自動配車・予約・乗合促進などの機能を備えたAIオンデマンドタクシーなどを想定。福祉移送サービスやタクシー利用料金助成等の事業と連携して実施。
ただし、導入・運用にコストが掛かるため、当初は一般タクシーの個別補助などからスタートすることなども検討。

現行の停留所の数を減らしつつ、村内主要部を經由し、朝夕は、教育機関や飯田線駅に接続し、昼間は病院、店舗等に接続する定時定路線バスを運行。高校生の通学に利用されている鉄道便にちやうど接続でき、近隣の教育機関に通学できるようなダイヤ設定とする。
※ 塩尻方面への接続は北駅、駒ヶ坂方面への接続は伊那北駅を想定する。

